

1. 化学品および会社情報

製品名 : スワブPlus 乳酸菌
製品番号 : 052096
製造発売元 : プリマハムグループ 株式会社つくば食品評価センター 検査試薬事業部
住所 : 茨城県土浦市中向原635
電話番号 : 029-841-8950
メールアドレス : Allergeneye@primaham.co.jp
推奨用途 : 乳酸菌検出用簡易ふき取り検査キット（食品工場の製造ラインや製造環境等）

2. 危険有害性の要約

検査キットに含まれる液体培地について記載

重要な危険有害性及び影響 : 通常の取扱いでは、危険性は低い
GHS 分類 : GHS 分類基準では区分に該当しないもしくは分類できない

3. 組成及び成分情報

検査キットに含まれる液体培地について記載

化学物質・混合物区別 : 混合物

化学名または一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	C A S 番号
トリプトン	約 1.3 %	—	—
酵母エキス	約 0.8 %	—	—
くえん酸三ナトリウム	約 0.5 %	C6H5Na3O7・2H2O	6132/4/3
D(+)-グルコース	約 2.0 %	C6H12O6	50-99-7
塩化ナトリウム	約 0.5 %	NaCl	7647-14-5
塩類	非公開	非公開	非公開
ブロモクレゾールパープル	非公開	非公開	非公開
有機酸塩類	非公開	非公開	非公開
寒天	約 0.1 %	—	—
水	約 92.0 %	H2O	7732-18-5

4. 応急措置

検査キットに含まれる液体培地について記載

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをする。
皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。異常があれば医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

検査キットに含まれる液体培地について記載

消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤 : 特になし
特有の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護 : 適切な呼吸保護具、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

検査キットに含まれる液体培地について記載

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収、中和 : 漏出したものはペーパータオルでふき取り、必要に応じてアルコール殺菌する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

検査キットに含まれる液体培地について記載

取扱い上の注意

技術的対策 : 皮膚に付けたりしないように必要に応じて適切な保護具を着用する。

注意事項 : みだりにエアロゾル等が発生しないように取扱う。

保管上の注意

適切な保管条件 : 冷暗所保存。(4-25℃)

安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. ばく露防止および保護措置

検査キットに含まれる液体培地について記載

設備対策 : 特になし

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 : データなし

ACGIH : データなし

保護具

呼吸器の保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する。

手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を着用する。

目の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を着用する。

衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと

9. 物理的および化学的性質

検査キットに含まれる液体培地について記載

形状 : 液体

色 : 紫色

臭い : エキス臭

沸点 : データなし

融点 : データなし

引火点 : 不燃性である。

密度 : データなし

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水に可溶

10. 安定性および反応性

検査キットに含まれる液体培地について記載

化学的安定性 : 通常条件で安定である。

反応性 : データなし

避けるべき条件 : 日光、熱

混触危険物質 : データなし

危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

11. 有害性情報

検査キットに含まれる液体培地について記載

急性毒性 : 経口 : 分類できない。
経皮 : 分類できない。
吸入 (ガス) : 分類できない。
吸入 (蒸気) : 分類できない。
吸入 (粉塵・ミスト) : 分類できない。

皮膚腐食性・刺激性 : 分類できない。
皮膚に対する刺激性はない。長時間もしくは繰り返し付けるとかゆみやかぶれを起
こすことがあるが、データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な
損傷・刺激性 : 分類できない。
眼を刺激することがあるが、分類できない。

呼吸器感作性又は : 呼吸器感作性 : 分類できない。

皮膚感作性 : 皮膚感作性 : 分類できない。

生殖細胞変異原性 : 分類できない。

発がん性 : 分類できない。

生殖毒性 : 分類できない。

特定標的臓器・全身 : 分類できない。

毒性－単回暴露	多量に経口摂取すると、悪心、嘔吐、腹痛などを起こすことがあるが、データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身	： 分類できない。
毒性－反復暴露	
吸引性呼吸器有害性	： 分類できない。

1 2. 環境影響情報

検査キットに含まれる液体培地について記載

水生環境有害性 短期 (急性)	： データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	： データなし
残留性/分解性	： データなし
生体蓄積性	： データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	： 使用後は 121℃20 分で高圧滅菌したあと廃棄する。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
汚染容器および包装	： 内容物を完全に除去し処分する。関連法規並びに地方自治体の基準に従い処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

陸上規制情報	： 非該当
海上規制情報	： 非該当
航空規制情報	： 非該当

国内規制

陸上規制情報	： 分類基準に該当しない。
海上規制情報	： 分類基準に該当しない。
航空規制情報	： 分類基準に該当しない。
特別安全対策	： 輸送に際しては直射日光を避け、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

消防法	： 非該当
毒物及び劇物取締法	： 非該当
労働安全衛生法	： 非該当
船舶安全法（危規則）	： 非該当
航空法	： 非該当
海洋汚染防止法	： 非該当
化学物質管理促進法 (PRTR法)	： 非該当
化審法	： 非該当

1 6. その他の情報

引用	： NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIIP) http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop ： 原料試薬供給先から提供されたSDS等
----	--

*本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

*新たな情報を入手した場合、商品の仕様に変更があった場合は、追加又は修正されることがあります。

*記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

*特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。